

香川県教育委員会事務局
保健体育課長殿

学校名 綾川町立昭和小学校
学校長名 濱崎良重

令和2年度 オリンピック・パラリンピック教育実施報告書

I 事業実施前の課題

- ・ オリンピック・パラリンピックについて知識がないため興味・関心のある児童が少ない。

II 具体的な取組み

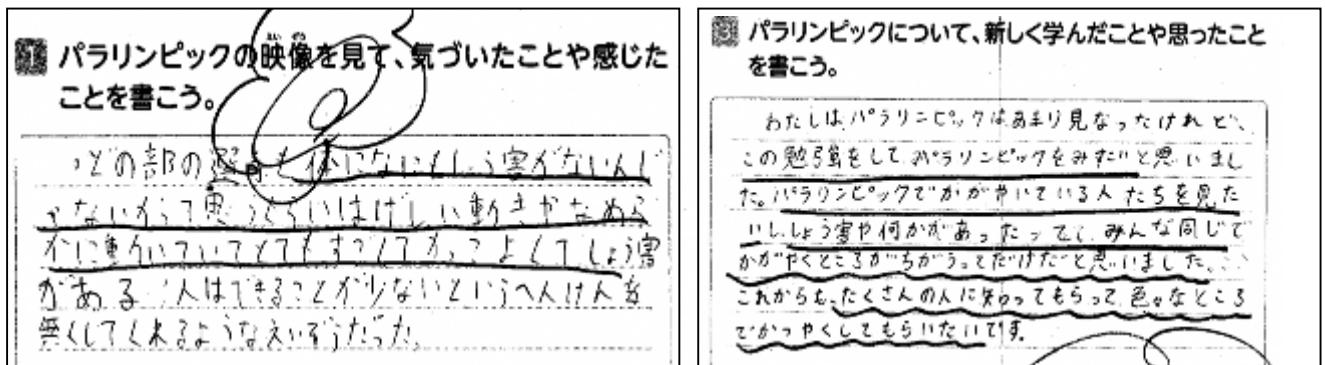
1 活動名（事前学習）：パラリンピックについて知ろう・パラスポーツについて調べよう

- (1) 日時：令和2年9月～10月ごろに複数回
- (2) 対象者：第5学年 42名
- (3) 活動概要及び工夫点（総合的な学習の時間で実施）

○『I' mPOSSIBLE』を活用した授業（主にパラリンピックについて）

事前アンケートの結果から、パラリンピックについて関心が低いことが分かった。そもそもパラリンピックについての知識がないことが分かったので、初めてパラリンピックについて学習する授業の導入で、国際パラリンピック委員会公認教材である『I' mPOSSIBLE』の映像資料を流した。

- (4) 活動の様子



【学習後の児童の感想】

2 活動名（中心学習）：パラスポーツを体験しよう

- (1) 日時：令和2年10月ごろ複数回
- (2) 対象者：第5学年 42名
- (3) 活動概要及び工夫点（体育の時間で実施）

○パラスポーツ体験・パラリンピアンによる講演

4つのパラリンピックスポーツ（ゴールボール、ボッチャ、シッティングバレーボール、車いすバスケットボール）の実物を活用し、種目への理解を深めた。また、車いすバスケットボールについては、パラリンピアンである根木慎志氏の講演・実技指導を受けた。

(4) 活動の様子



【ゴールボールをしているところ】



【根木慎志氏の講演】

3 活動名 (事後学習) : パラスポーツから学んだことを昭和っ子発表会で伝えよう

(1) 日 時 : 令和2年11月23日 (土) 8:00~11:00

(2) 対象者 : 第5学年 42名

(3) 活動概要及び工夫点 (学校行事で実施)

○学習発表会を通した保護者への情報発信

これまでの学びを生かした新たなパラスポーツを考え、学習発表会で自分たちが学んだことを発表するという目標を設定し活動した。

(4) 活動の様子



【新パラスポーツを考えているところ】



【発表しているところ】

III 成果と課題

○パラスポーツ体験やパラリンピアンである根木慎志氏の講演・実技指導から、障がいへの理解、相手のことを認め合う共生の意識が養われたと感じる。

○パラスポーツの体験は児童にとって楽しかったようである。加えて、「障がいがある人にとっては大変」という感想が多くあったが、「大変さも工夫次第で誰もが一緒に楽しめる」という視点を持ち、ボッチャの要素を取り入れた「フラフープ玉入れ」という遊びを児童が考えた。それを児童会活動に取り入れて全校生で楽しめたことは、他者や障がい等の多様性に関する理解を深めるきっかけになった。

○△学習後の児童の感想から、パラリンピックについての知識・理解が深まり興味をもったことが読み取れた。

<児童の感想>

- ・パラリンピックを生で見たい。 ・パラスポーツをしてみるととても楽しかった。もっとしたい。
- ・他のパラスポーツもやってみたい。 ・パラリンピックは誰もが輝けるものだと分かった。

アンケートの1回目と2回目の比較からも、「パラリンピックに興味があるか」という項目で、「とてもそう思う」「そう思う」の割合が大きくなったことから、多くの児童の意識に変化があったことが分かる。今年度以降も、スポーツ体験や講師による講和等、全校生がオリパラに関わり、意欲が継続される手立てがあると、さらなる効果が見込めると感じた。

